

丸山忠男議員



● 市長当選を受けての5期目の課題について

そのほかの質問
・雪害対策について

一般質問

丸山忠男議員
野道路の開通に合わせた通勤者への支援、スキーなどのウインタースポーツ

新年度からは、IJU政策担当課を新設し、更に積極的施策を推進していく。具体的施策としては、賃貸住宅に対する家賃助成や創業支援、中部縦貫自動車道永平寺大野道路の開通に合わせた通勤者への支援、スキーなどのウインタースポーツ

①現在、IJUターンの促進するため、移住定住ポータルサイト、空き家情報バンクを通じた情報発信、住宅取得やリフォーム補助のUIターン者上乗せ、市職員採用におけるIJUターンの枠の新設などの取組みを実施している。

②新たな企業誘致や地元若者の就業支援、定住化促進策、また地元企業の施設の拡充や建設を更に進めるための対策について伺う。
③新たな企業誘致や地元若者の就業支援、定住化促進策、また地元企業の施設の拡充や建設を更に進めるための対策について伺う。

ツや雪国が好きの人を対象とした雪国暮らし体験ツアーの実施など新たな施策を展開したい。
②かつやま恐竜の森に訪れるファミリー層に対しては、市内の個店でもおもてなしを進めるとともに、特産品の物販による観光消費額の増加を図る。そして、アクティブシニアをターゲットに、東園での白山平泉寺のプロモーションを進め観光客の平準化を図るとともに、旧城下町のおもかげを今に伝える「まちなか」などへの周遊滞在型観光を推進していく。

③インターネット通販1社を含む地元企業5社が企業振興奨励制度を利用し、物流センターや工場等の整備を進めるなど市内での働く場の確保を進めているが、更に勝山市の地域特性を企業活動に活かせるような企業をターゲットに誘致を呼びかけることが必要。

今後九頭竜川水系や加越国境に広がるすばらしいフィールドや自然景観を活かせる産業、恐竜関連産業、ウインタースポーツ関連産業などの誘致を進めたい。

①観光の産業化を目指すための中核組織の※日本版DMO「勝山市観光まちづくり株式会社」はどのような役割を担うのか。
②着地型観光を推進するための旅行業の登録について。
③旧料亭花月楼を改修し、食と伝統文化の拠点施設とすることによってまちなかへの誘客を図るとともに、長尾山総合公園内では(仮称)ジオターミナルを設けてまちなかへの観光案内と飲食物販を行う予定。更に今後、建設される道の駅での地域振興施設に何らかの形で関わり、勝山市の観光の産業化を主体となつて進めていく使命のもとに設立されたと理解している。これら3極、さらには市内の個店などを中心に観光客が周遊し、食事を提供しお土産品などを販売することによって観光収入が増え観光の産業化につながる。

松山信裕議員



● 観光戦略について
● 福祉について

そのほかの質問
・勝山フィルムコミッションと映像戦略について
・越前大仏大師山清大寺について

一般質問

このように勝山市全体の流れを一元的にマーケティングやマネジメントしていくこととなる。
②現在、「第3種」または「地域限定」のいずれかの旅行業の取得について

①旧料亭花月楼を改修し、食と伝統文化の拠点施設とすることによってまちなかへの誘客を図るとともに、長尾山総合公園内では(仮称)ジオターミナルを設けてまちなかへの観光案内と飲食物販を行う予定。更に今後、建設される道の駅での地域振興施設に何らかの形で関わり、勝山市の観光の産業化を主体となつて進めていく使命のもとに設立されたと理解している。これら3極、さらには市内の個店などを中心に観光客が周遊し、食事を提供しお土産品などを販売することによって観光収入が増え観光の産業化につながる。

また、生涯健康な口腔状態を維持できる体制を進めていくために、条例の制定も必要と考えるかどうか。
③節目健診の実施については、歯や口の健康を保つことは体全体の健康づくりに深く関係し、また、歯の健康の意識を高めるためにも前向きに検討していきたい。

①観光の産業化を目指すための中核組織の※日本版DMO「勝山市観光まちづくり株式会社」はどのような役割を担うのか。
②着地型観光を推進するための旅行業の登録について。
③旧料亭花月楼を改修し、食と伝統文化の拠点施設とすることによってまちなかへの誘客を図るとともに、長尾山総合公園内では(仮称)ジオターミナルを設けてまちなかへの観光案内と飲食物販を行う予定。更に今後、建設される道の駅での地域振興施設に何らかの形で関わり、勝山市の観光の産業化を主体となつて進めていく使命のもとに設立されたと理解している。これら3極、さらには市内の個店などを中心に観光客が周遊し、食事を提供しお土産品などを販売することによって観光収入が増え観光の産業化につながる。

取得時期は、平成29年4月を目指し、来年の夏休み以降、渋滞なしで、恐竜博物館を訪れ、化石発掘体験、まちなかでの食事と周遊をセットにした募集型企画旅行商品等を催行できるよう努めていく。

④節目健診体制について、20、30、40、50、60歳の節目に健診を受ける節目健診や成人式を迎える若者たちに無料で歯科検診券を配るなど検診制度を改善し、受診率向上につなげるべきではないか。

また、生涯健康な口腔状態を維持できる体制を進めていくために、条例の制定も必要と考えるかどうか。
③節目健診の実施については、歯や口の健康を保つことは体全体の健康づくりに深く関係し、また、歯の健康の意識を高めるためにも前向きに検討していきたい。

取得時期は、平成29年4月を目指し、来年の夏休み以降、渋滞なしで、恐竜博物館を訪れ、化石発掘体験、まちなかでの食事と周遊をセットにした募集型企画旅行商品等を催行できるよう努めていく。